

第1時

文化のちがいを調べよう

世界の国々の文化や生活の様子を調べて、  
しょうかいする文章を書こう。

☆市川さんの書き方を見て気づいたこと。

☆学習計画を立てよう。

- ①世界の国々の文化や生活の様子について不思議に思っていることを話し合い、調べたいことを決める。
- ②本やインターネットを使って調べ、表にまとめる。
- ③事例のままとまりに気をつけて、しょうかいする文章を書く。
- ④友達と読み合う。

第2～4時

日本と外国の文化や生活の様子について調べよう。

○日本と外国の文化や生活の様子で不思議に思うこと

- ・料理
- ・お祭り
- ・家の作り方
- 表のまとめ方

調べること：お正月の食べ物

国の名前	お正月の食べ物
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おせち</li> <li>↓おせちにはえんぎの良い食べ物が入っている。</li> <li>黒豆</li> <li>数の子</li> </ul>

○どんな料理を食べるのか。  
○料理にこめられたねがいなど。

第5時

○ 市川さんの例  
 う。 しょうかいする文章の組み立てを考えよ

はじめ	みなさんは、……ますか。
中1	日本 おせち 黒豆 数の子
中2	中国 水ぎようざ 昔のお金の形
中3	アメリカの南部 ホッピン・ジョン
終わり	このように……ちがう けれども、……共通

○ 自分の組み立てを表に書き入れる。

第6時

「日本と外国の文化や生活の様子」をしょうかいする文章を書こう。

はじめ	みなさんは、……ますか。
中1	日本 おせち 黒豆 数の子
中2	中国 水ぎようざ 昔のお金の形
中3	アメリカの南部 ホッピン・ジョン
おわり	このように……ちがう けれども、……共通

○ 書くときに気をつけること  
 ・ 国ごとに段落を分けて書く。  
 ・ にているところやちがうところについて、まとめる。

○ たしかめよう  
 ・ 組み立て表の順番になっているか。  
 ・ まとまりごとのだん落になっているか。

第7時

友達と文章を読み合い、より良い文章にしよう。

- 学習の進め方
- ①グループで文章を読み合う。
- ②アドバイスしたいことや良かったことをふせんに書いてわたす。
- ③ふせんの内ようをもとに清書する。
- ☆ふせんに書くこと  
黄色↓「いいね。」  
ピンク↓「こんな書き方もあるよ。」
- ふり返り
- 友達の文章を読んで助言することができたか。
- それを生かして、分かりやすい文章にすることができたか。

第8時

文章を友達と読み合い、良いところを伝え合おう。

- ☆学習の進め方
- 文章を読み合う
- ①前のじゆぎようで交流した人
- ②ほかの友達
- ←
- ←
- 良いところや気づいたこと↓ふせんに書いてわたす
- ふり返り
- 分かりやすく説明する文章を書くポイントを考える。
- 自分の書いた文章の良いところを見つける。

自分の意見を組み立てて説明しよう

第1時

自分の意見を組み立てて説明しよう  
相手になっとくしてもらうための説明のこ  
ツを知ろう。

根きよ ↑ だれが見ても分かる事実  
さいしよは大きい  
つかえばつかうほ  
ど小さくなる

理由 ↓ つかえばつかうほど小  
さくなると書いてある  
からです。

根きよと  
意見を つなぐ  
・ 同じことをくりかえしているだけ  
・ 消しゴムである理由になっていない

「理由」とは  
自分が知っていることや経験したことをもとに、  
根きよの意味を考えたり想像したりすること

意見  
・ ろうそく  
もやせばもやすほどとけて短  
くなっていくから。  
理由  
・ キヤベツ  
葉っぱをむいて、料理につか  
えばつかうほど小さくなって  
いくから。

ふり返り…理由をのべるよき

第2時

説得力のある意見ののべ方を知ろう。

「白いぼうし」…女の子の正体は？

「白いぼうし」の中の言葉・文

根きよ ←

自分なりの考え ←

理由 ←

「早く行っ  
てちょうだ  
い。」  
せかせか

行き先  
菜の花横  
町

あわててい  
る  
またつかま  
りたくない  
から

菜の花畑  
にいるな  
かまのと  
ころに…

意見  
女の子の正体は「ちょう」である。

◎根きよと理由を区別するよきを考えよう。

説得力のある説明をしよう。

◎ 四人の意見の説得力があるところ。

- ・ 「左下に月が出ている」「夕やけみたいに赤い」と、絵ににえがいてあることを根きよにして「夕やけみたい」と自分の考えを言っている。
- ・ 理由を三つ言っている。どれも、えがかれている色や人やものを根きよにしている。
- ・ 色を根きよにして、秋のふんい気がする、と理由を言っている。

絵にえがかれていることを根きよにしている。

根きよにしたことから、自分が感じることや予想したことを言う。

◎ 自分がふさわしいと思う題名について説明し合おう。

学習のふり返り

第1時

言葉のいろいろな表情

言葉の中にかくれている気持ちについて考えよう。

◎どんな気持ち？

・木村さんの「おはよう」

↓元気  
↓会えてうれし

・大野さんの「おはよう」

↓じゃましない  
↓で

↓だれか来たなあ

・竹田さんの「おはよう」

↓おながかった  
↓い

↓おながかった  
↓はずかしいなあ

・市川さんの「おはよう」

↓それどころ  
↓じゃない

← 同じ言葉でも、言い方によって伝わってくる気持ちが変わる。

第2時

いろいろな言い方や伝わり方について考えをまとめよう。

◎「ちよつと、てつだつてくれる？」

・もうしわけなきそうに ↓○

・当たり前のように ↓×

・ふざけたように ↓×

・おこつたように ↓×

◎「いいよ」

・まかせて ↓○

・しかたないなあ ↓△ちよつといやな感じ

・いやだな ↓×

◎話すときに気をつけること

・声の大きさ、強さ、速さ

・言葉の最後の部分（のばす？ 上げる？）

☆まとめ

...

令和二年度版「みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上」板書例  
物語のみ力をしようかいしよう／ポレポレ

第1時

読書に親しまおう

「ポレポレ」のみ力をしようかいし合い、読書に親しまおう。

○学習の流れ

- ・「ポレポレ」を読んで、み力をしようかいし合う。
- ←
- ・好きな本を読み、読書カードにまとめる。

○読書カードの書き方をたしかめる。

- ・「読書の足あと」カード
- ・ほかに書きたいことは？

○「ポレポレ」を読む。

☆注目するところ

- ・登場人物のみ力
- ・物語のおもしろいところ

第2時

「ポレポレ」のみ力を書き出し、それらを整理しよう。

☆「ポレポレ」のみ力とは？

○登場人物の好きなどころ

- ・ピーターが、だれとても仲良くなれるところ
- ・ピーターが、だれのことでもよく分かっているところ
- ・ピーターのおかげで、みんなが仲直りするところ

○おもしろいところ

- ・「ポレポレ」という言葉でみんながつながってらくところ

○表げんのくふう

- ・ピーターがけがをして入院している理由が、後で分かったこと

第3時

物語の内ようや登場人物のみ力について、  
しよいかいするための発表原こうをつくろ  
う。

- 話し合いを  
自分の発表原こうに生かす。
- 話したい「み力」をえらぶ。
- 発表原こうを書く。
- ・話すことを全部書かず、主なこと、中心とな  
ることを。
- ・三分以内で話すことを考えながら。
- ・話すときに見せたい絵や図などを用意。
- ◇発表のしかたでくふうしたいこともメモする。
- ・強調したいところ↓声の大きさを変える。
- ・聞き手によく伝わるように↓話す速さ・間を  
空ける
- ・せりふに気持ちをこめた表げんにする。
- ★「ボレボレ」大賞を目指して
- 「ボレボレ」のみ力を三分で伝えよう！

第4・5時

みんなで発表し合い、「ボレボレ大賞」を決  
めよう。

- 学習の流れ
- ・一人で練習。
- ←
- ・四人グループで発表し合い、代表者を決める。
- ←
- ・グループの代表者が全員の前で発表。
- ←
- ・いちばん良かった発表が「ボレボレ大賞」
- 発表の練習。
- ・三分以内に
- ・表げんをくふうして、聞き手をひきつける
- どんな発表が、良い発表か。
- ・内ようの良さ↓どこに着目？
- どんなことに気づいている？
- 発表のしかた↓聞き取りやすさ、きょうみを  
    ひかれる話し方
- ボレボレ大賞を決めよう。
- ・さい点のしかた：内よう10点、発表のし  
    かた5点、合計15点満点
- ・いちばん良いと思った人、良いと思った理  
    由。



書いた読書カードをもとに伝え合おう。

- 読書カードに書く。
- ・「読書の足あと」カード
- ・本のみ力をつたえるための、しようかいカード
- 書いた読書カードをもとに友達にしようかい。
- ・読書カードを交かんして伝え合う。
- ↓「ポレポレ」の学習を生かせる。良さが伝わりやすい。
- ・読書カードをてんじする。
- ↓好きなときに見ることが出来る。
- これからも読書をつづけるために
- ・カードを整理して、教室にてんじ。
- ・ファイリングして時々交かん。
- ・週に一回、朝の会で発表。

第1時

かぼちやのつるが

原田 直友

かぼちやのつるが成長していく様子が伝わる音読のしかたを考えよう。

つるが

- ・のびる・まきつく
- ・一本? ふく数?

かぼちやのつるが

はい上がり

はい上がり

葉をひろげ

葉をひろげ

はい上がり

葉をひろげ

細い先は

竹をしっかり(きぎ)ぎって

屋根の上に

はい上がり

短くなった竹の上に

はい上がり

小さなその先たんは

いっせいに

赤子のような手を開いて

ああ 今 空を(か)もつとして

※全体交流の際の児童の気付きを板書していく。

第2時

ふしぎ

金子みすゞ

この詩にこめられた作者の思いを考えながら読もう。

わたしはふしぎでたまらない、

考えなくても息をすつたりはいたりできること。

・同じ花のたねから、さまざまな色の花がさくこと。

ふしぎ

金子 みすゞ

くりかえし

(第一連) 黒い雲、

銀に、

(第二連) 青いくわ

かいこが、

(第三連) たれも、

ひとりで、

(第四連) たれに、

あたりまえた、

ぼく・わたしの考える「ふしぎ」

七・五 おなじかたちのたねなのに、

七・五 さまざまな色にさくことが。

※全体交流の際の児童の気付きを板書していく。

令和二年度版「みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上」板書例  
 こんなに成長したよ

第1時

こんなに成長したよ

「自分が成長したこと」を話すために、組み立てを考えよう。

○成長したと思うこと（一言で）

○成長のきっかけとなった出来事

・いつ  
 ・どのようなとき  
 ・なぜ

○成長して良かった出来事

○わたしの思い

第2時

たがいにスピーチをして、感想を伝え合おう。

①話すとき、聞くとき

話すとき

- ・聞き手を見る
- ・はつ音、声の大きさ
- ・はやさ
- ・強弱
- ・間
- ・身ぶり

聞くとき

- ・自分とくらべて
- ・相手の考えに対して

②感想を伝えよう。

- ・自分とくらべて

③ふり返ろう

- ・だれのスピーチが良かったか
- ・それはなぜか
- ・話し方が上手だと思った友達は
- ・自分の話はどうだったか
- ・自分の聞き方はどうだったか聞きたいか
- ・次は、どのように話したいか、

第1時

接続語

接続語の働きをたしかめよう。

- 1 だから、運動会は 中止になった。
  - 2 ところが、運動会は 中止にならなかった。
- 接続語・語と語、文と文などをつなぐ働き
- ・だから↓予想したとおり：「順接」
  - ・ところが↓予想と反すること：「逆接」
- どんな接続語がある？

順接	逆接	その他
そこで	しかし	それに(つけ加え)
すると	だが	なぜなら(説明する)
それで	それでも	それとも(えらぶ)
こうして	けれども	つまり(まとめる)
		さて(話題を変える)

- 文を作ろう
- ・まとめ・ふりかえり
  - ・接続語↓文と文をつなぐ働き 使い分けが大
  - 切
  - ・接続語を使うと、伝えたいことが分かりやすくなる

第2時

接続語の使い方をたしかめ、前後の関係を  
 考えながら文を作ろう。

- 接続語 ↓文と文などをつなぐ働き
- (ア) がんばって練習した。だから、試合で二位だった。
- (イ) がんばって練習した。しかし、試合で二位だった。
- (ウ) がんばって練習したので、試合で二位だった。
- (エ) がんばって練習したけれど、試合で二位だった。
- だから：練習したことが良い結果に
- ◇うれしい気持ち
- しかし：練習したが、もう少しがんばらないと
- ◇残ねんな気持ち
- ★接続語によって表れる気持ちにちがいが出る。
- 一文を二文に
- ・がんばって練習したけれど、試合では二位だった。
  - ↓「しかし」を使う
  - まとめ・ふりかえり
  - ・接続語によって、文に表れる気持ちがちがう。
  - ・二文を一文にすることもできる。

# 漢字のいろいろな読み方・送りがな

## 第1時

漢字のいろいろな読み方・送りがな  
漢字のいろいろな音読みや熟語の特別な読み方を知ろう。

○漢字の読み方

- ・訓読み ↓ 日本語の意味に当てはめた
- ・音読み ↓ 中国の発音をもとにした

図工

図書館 「図」の読みⅡズ・ト

○特別な読み方

- ・「昨日」：サクジツ・きのう
- ・「明日」：ミヨウニチ・あす

○調べよう・たしかめよう

- ①大人（おとな）
- ②川原（かわら）
- ③七夕（たなばた）
- ④時計（とけい）
- ⑤上手（じょうず）
- ⑥下手（へた）
- ⑦八百屋（やおや）
- ⑧今朝（けさ）
- ⑨真っ青（まっさお）

○まとめよう・ふりかえろう

- ・漢字には、いろいろな音読みがある。
- ・特別な読み方をする熟語がある。



## 第2時

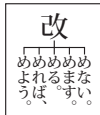
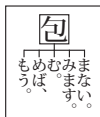
漢字の訓読みの送りがなの付け方や形の変  
わる送りがなを知ろう。

「送りがな」 ↓ 訓読みのときに漢字に続くかな

- 送りがなによって漢字の意味や読み方が変わる。

○送りがなの付け方

- ・語  手が、物語を語 
- ・付けない：物事を表す、言葉としてまとまっている場合
- ・付ける：動きや様子を表す場合
- 送りがなの形



○まとめよう・ふりかえろう

- ・送りがなは、動きや様子、物事など、言葉の意味に合わせて、使い分けをする。

第1時

文章のまとめりと分かりやすさ

○教科書にある文章を読んでみて

- ・一文が長い。
  - ・段落がない。
- ↓読みにくい。

教科書のP116・117に例示された文章を拡大して貼る

文章を分かりやすく書き直そう。

○分かりやすい文章にするには

- ・一文を短く
- ・「。」や「。」を付ける。
- ・意味のまとめりに段落に分ける。

第2時

○分かりやすい文章にするには

- ・一文を短く。
- ・「。」や「。」を付ける。
- ・段落に分ける。

これまで書いた作文を読み直し、文章を  
分かりやすく書き直そう。

○書き直し方

この三つの方法を使う。

★書き直し方

- ・書き直す言葉や文に——を引く。
- ・書き直す言葉や「。」をふせんに書き、  
——の横にはる。

第1時

短歌

○俳句の持ちようは？

- ・十七音
- ・五音と七音でできている。
- ・季節の風景をよんでいる。

短歌の持ちようをつかみ、リズムよく音読しよう。

○短歌は何音？

- ・三十一音
- ・五音と七音でできている。

☆リズムに気を付けて短歌を音読。

- ・言葉のくぎりで間を空ける。
- ・五音と七音のリズムをたしかめながら。

○ふり返り

- ・俳句とにっていた。
- ・リズムよく音読できた。
- ・なんとなく意味が分かってきた。

第2時

短歌

○短歌

- ・五音と七音でできている。
- ・美しい風景
- ・リズムよく読める

短歌の表げんから、気づいたことを出し合おう。

○

☆想ぞうしたこと

- ・きらきらした感じ
- ・イメージが広がる

教科書 P118・119 の  
短歌 6 首を貼り出す。

第3時

百人一首をリズムよく音読し、風景を想えよう。

教科書 P118・119 の  
短歌9首を貼り出す。

○気に入った短歌とその理由

第4時

好きな短歌とにているところを見つけ、発表し合おう。

☆活動の流れ

◇先生が選んだ短歌を読む

← ◇自分が好きな短歌とにているところを発表し、選んだ短歌を音読する。

・にているところ：季節・風景・時間など

← ◇友達が選んだ短歌と、自分の選んだ短歌のにているところを発表し、音読する。  
※くり返す

○ふり返り

・季節のうつり変わりや風景を歌った短歌が多い。

・今の人と昔の人の感じ方にはにている。



第1時

安全マップを作って話し合おう

○これまでの話し合い活動

- ・発言が少ない。
- ・発言がつながらない。
- ・多数決で決まってしまう。

問題解決のために話し合おう

・意見のなっているところやちがうところに気をつけながら、考えをまとめる。

①安全マップにまとめる話し合い  
どのようなきけんがあるかをたしかめる。

②安全に登下校するための方法を見つめる話し合い  
きけんな目にあわない方法を考える。

③クラス全体での話し合い  
グループでの発表を聞き分ける柱を立てて話し合う

☆学習のまとめ  
問題解決のための話し合い方をまとめる

教科書 P127 の安全マップを拡大したものを貼る

第2時

通学路のきけんな場所を出し合って、地図に書きこもう。

- ・きけんな場所を出し合う。
- ・どんなきけんがあるかをたしかめる。
- ・きけんな場所を決める。

○マップ作りのくふう

・きけんの大きさで付せんの色や大きさを  
変える。

・特にきけんな場所  
にしぼる。

☆話し合いで気づいたこと

- ・しつ問されて、きけんの内ようが十分じゃないのに気づいた。
- ・付け加えて内ようがくわしくなった。

教科書 P125 の安全マップを拡大したものを貼る

第3時

登下校のきけんをまとめて、安全な方法を見つけよう。

きけんをたしかめる。  
きけんに合わせたよりよい方法を考える。

教科書 P127 の安全マップを拡大したものを貼る

- ・プレゼン
- ・きけんな場所ごとに
- ・きけんをしつかり伝える
- ・場所を指しながら

助けてもらえる場所を書いておく。  
特にきけん度の高い場所には、印を付ける。

☆まとめ  
よい方法を見つけるには、( ) ( ) し、( )  
する話し合いが大切である。

第4・5時

安全マップをもとに、クラス全体で話し合おう。

- ☆グループ発表のポイント
- ・どんなきけんがあるか。
- ・安全な登下校にするためにはどうすればよいか。

- ☆きけんの特ちょう
- ・交通事故のきけんがいちばん多い。
- ・池や川のきけんもある。
- ・人が通らないところはほとんどないけれど、不しん者はいつ、どこで出るか分からない。

- ☆話し合いの柱
- ・交通事故をなくすため
- ・きけんな目にあわないよう

- （役わり）
- ・司会
- ・書記
- ・タイムキーパー

※四時間目は板書例のようにポイントを押さえ、五時間目は板書記録を取る。

問題解決のための話し合いには何が必要か  
まとめよう。

☆グループでの話し合い

- ・ちがう考えにふれることができて、よかった。
- ・理由をはっきり言えばよかった。

☆クラスでの話し合い

※話し合いの板書記録(写真など)

\*板書記録を使って、良い発言や改善が必要な個所を明示し、なぜ良かったのか、どう改善すればよいかを書き込む。

☆まとめ

- ・話し合いのじゅんび
- ・考えをしっかりと出し合う
- ・意見をくまらべながら聞く